

1

田園集落区間

■将来の姿 ワークショップ、実証実験等でいただいた“お気に入り”や“こうなったらいいな”を描きました。この実現に向けて取り組んでいきます。



- 1 朝日山や立山、田園への眺めを大事にしよう
- 2 回遊ルートを開拓しよう
- 3 シンボルロードと周辺の魅力を結ぶ結節点を彩ろう
- 4 祭礼や身近な環境を守る活動を大事にしよう
- 5 建築物や広告物を周辺の自然環境と調和させよう
- 6 まちなかのエントランスにふさわしい道路環境をつくろう
- 7 多世代が利用しやすいモビリティを充実させよう

まちなか区間

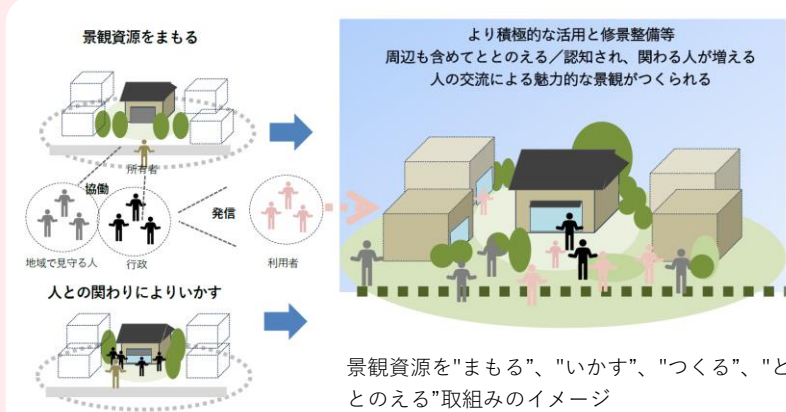


- 1 民間のオープンスペースを活かそう
- 2 小さなみどりを育てよう
- 3 魅力的／もったいない資源を発見して活かそう
- 4 まちなかに座り場・たまり場を増やそう
- 5 人の活動が映える建築物や広告物を増やそう
- 6 子どもが楽しめる場所を増やそう
- 7 ストリートファニチャーで沿道をつなげよう
- 8 シンボルロードと周辺の魅力スポットをつなげよう

■活動を生み出す景観づくり 地区の景観資源を“まもる”、“いかす”、“つくる”、“ととのえる”活動を生み出していきます。

沿道とその周辺に市民に愛される景観資源や公共的なオープンスペース、空き地や空き店舗等の潜在的なストックが存在

国道415号沿道とその周辺の資源を関わる人みんなで顕在化、共有し、人の営み・活動・触れあいの場として積極的な利活用を図る



①景観資源をまもる活動

- 景観資源を掘りおこし、守る取組みと仕組みづくり
- 既往制度の活用や新たな仕組み構築による指定・保全



②景観資源をいかす活動

- 市民や事業者等の関わりでの促進・支援
- 情報発信の取組み強化



③景観資源をつくる活動

- 景観資源を利活用しながら新たな魅力的場所を創出



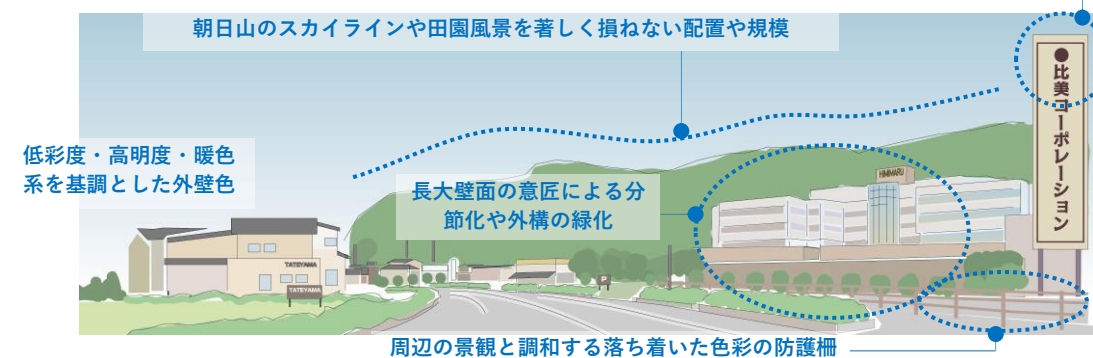
④景観資源をととのえる活動

- 景観資源と一体的な風景を構成する隣接地や沿道の結節点、眺望スポットなどの修景や魅力づくり

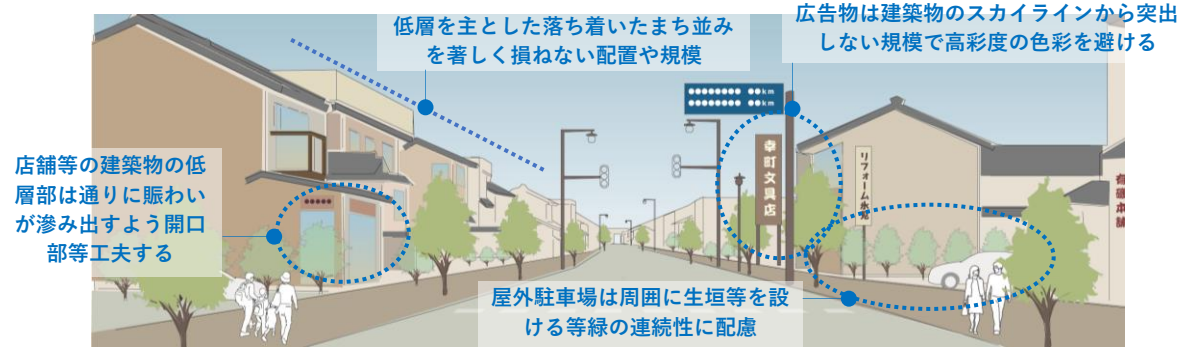


■まち並みと環境を整える景観づくり 建物・広告物・公共施設（道路・広場等）の景観誘導により域特性を活かしたまち並みの形成を進めます

田園集落区間の景観誘導イメージ



まちなか区間の景観誘導イメージ



公共施設（道路、広場等）の景観誘導

- 富山県公共事業の景観づくり指針の準用を徹底するとともに、主要な要素の整備方針を定めます。
- 特に重要な公共施設は、景観重要公共施設への指定を検討します。

